

マスコミ各位

平成30年3月29日（木）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：山内、仁平

電 話：098-866-2215

麻しん(はしか)患者の発生について(第二報)

1 報道関係者の方へ

平成30年3月23日に、本県では平成26年以来となる麻しん患者が発生したことを報告しましたが、本日、3月29日に、新たに2名の麻しん患者が確認されました。

当該患者は、2名とも初発の患者との接触歴が確認されています。引き続き、初発患者と接触した（同一空間を共有した）方は、麻しんに感染している可能性がありますので、各医療機関および県民への注意喚起をお願いします。

今回確認された2名の患者については、居住地を管轄する保健所が注意喚起及び健康観察対象としておりました。引き続き、2名の患者の接触者についても、注意喚起及び健康観察を行います。

なお、麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされております。現時点までに確認された患者が利用した施設等を利用されても、当該患者を原因とする麻しんウイルスに感染することはありません。

また、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることがないように、格段のご配慮をお願いします。

2 患者の情報

1. 石垣市在住、40代、女性。初発患者が利用した宿泊施設を、同日に利用。

【経過】

3/27（火）発熱。八重山保健所及び管内医療機関に事前連絡し、医療機関を受診。

3/28（水）当該医療機関から八重山保健所へ、麻しん疑い患者報告。

八重山保健所から衛生環境研究所へ検査依頼。

3/29（木）検査の結果、麻しん遺伝子陽性。

2. 中部保健所管内在住、30代、男性。初発患者が利用した飲食店の従業員。

【経過】

3/28（水）発熱。中部保健所及び管内医療機関に事前連絡し、医療機関を受診。

当該医療機関から中部保健所へ、麻しん疑い患者報告。

中部保健所から衛生環境研究所へ検査依頼。

3/29（木）検査の結果、麻しん遺伝子陽性。

3 県民の皆様へのお願い

麻しんは、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。

麻しん患者と接触した場合は、接触後 7～21 日間の健康観察が必要となります。そのため、4月18日までに発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

4 麻しん（はしか）について

原因：麻しんウイルス

潜伏期間：10～12日

主な症状：感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染（麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下）

感染症法：五類感染症

予防：予防接種が有効

麻しんに感染しないためには、予防接種が重要です。

麻しんの定期予防接種（第1期：1歳、第2期：小学校入学前）がまだの方は、早めに予防接種（MRワクチン）を受けましょう。

特に、4月から小学校に入学されるお子さん（第2期該当）で、予防接種がまだの方は、今月中に受けましょう。

また、定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MRワクチンを受けましょう。

- 母子手帳などで麻しんワクチンを2回以上受けた記録がある
- 過去に麻しんに罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）